

# 大使館からのお知らせ

【治安情報】当地新聞より（殺人事件、強盗事件など、毎月の主要な事件について概要をお知らせしています。）

## 「37歳男性看護師、焼死体で発見」

7月2日（水）午前5時30分、アラフエラ県ケサーダ市プエブロヌエボ地区において、男性の焼死体が発見された。焼死体は、サン・カルロス病院に勤務する37歳の男性看護師と見られ、皮膚の45%に火傷を負い、23箇所刺傷があった。

## 「22歳男性、強盗に襲われケガ」

7月11日（金）夜間、サンホセ県モンテスデオカ市バリオピント地区において、22歳の男性が2人組の強盗に襲われ、銃で撃たれて負傷した。

## 「44歳母親と23歳息子、強盗に襲われる」

7月20日（日）未明、リモン県リモン市において、44歳の母親と23歳の息子がバイクを二人乗りで走行中、道路に張られていたロープに引っかかり転倒した。そこに4人組の強盗が現れ、バイクと現金を奪い、その場で母親を強姦し逃走した。

## 「35歳警備員、銃で撃たれて死亡」

7月20日（日）午後6時、サンホセ県サンホセ市セントロにある会社の倉庫入り口において、35歳の警備員が3人組の男に襲われ、所持していた銃を奪われた。警備員は奪われた銃で撃たれ死亡した。3人の容疑者は逃走したが、近隣の人からの通報により、現場から約300メートル先で逮捕された。

## 「40歳警備員、銃で撃たれて死亡」

7月22日（火）夜間、サンホセ県サンホセ市マタレドンダ地区にある民家において、40歳の警備員が強盗に銃で腹部を撃たれ、病院に運ばれたが死亡した。

## 「28歳男性、銃で撃たれて死亡」

7月28日（月）午後11時、エレディア県サラピキ市プエルトピエホにおいて、28歳の男性が友人宅から帰るため公道に出てタクシーを探していたところ、バイクに乗った2人組の男らが近づいてきて、銃で腹部を7発撃たれ死亡した。犯人らはそのままバイクで逃走し、一緒にいた友人に被害はなかった。死亡した男性は、過去に2回、警察の取り調べを受けており、事件絡みの犯行ではないかとみられている。

※アラフエラ県において、在留邦人の方が自家用車を夜間、親戚宅前に路上駐車していたところ、盗難されていたという事案が発生しました。路上駐車は極力避け、公共駐車場などを利用するようにご注意ください。

以上

◆ 大使館では皆さまからの情報提供をお待ちしています。◆  
TEL: (506)2232-1255 FAX: (506)2231-3140  
E-mail: japon-consulado@sj.mofa.go.jp (大使館領事班)  
または eriko.nishida@mofa.go.jp (西田)まで